

- 1 期 間 平成25年11月11日(月)～平成25年11月15日(金)
- 2 対 象 紀の川市立粉河小学校 第5学年 A組 男子15人 女子15人 計30人
B組 男子16人 女子14人 計30人
- 3 単元名 グラフや表を引用して、説得力のある意見文を書こう
教材名 「天気を予想する」「グラフや表を引用して書こう」 光村図書 5年

4 指導にあたって

(1) 教材観

「天気を予想する」は、「説明のしかたについて考えよう」という目標で「読むこと」を中心とした教材である。全体構成は「はじめ・中・終わり」の3部構成ではなく、具体的な事例を「問い」と「答え」を繰り返し説明し、筆者の主張である結論にたどり着くという2部構成の尾括型の文章である。

この教材は、「はじめ・中・終わり」には分けることはできないが、問いと答えがはっきりと書かれているので、意味段落に分けることは容易な文章であるといえる。

また、グラフや表などの資料を用いて、自分の意見の理由付けをしている。資料と文章を対応させ読む必要があるため、日頃からグラフの見取りに対して抵抗なく取り組める児童であれば、理解しやすいが、そうでない場合には、グラフの見取り方から指導する必要があると考える。

「グラフや表を引用して書こう」は、「理由付けを明確にして説明しよう」という目標で「書くこと」を中心とした教材である。この教材は、双括型の文章であり、児童が書く意見文の例文としての役割がある。この教材もグラフを引用して説明しているという特徴があり、説得力をもたせるための手だてとしてグラフや表を活用し、意見文を書くことをねらいとしている。この教材は、「日本の社会はくらしやすくなっている。」ということをグラフを根拠に主張している。児童に「これからのくらし」について目を向けさせることで、どのように行動していけば良いのかを考えさせる機会になる例文である。

(2) 児童観

この学年では、授業者が7月に、第1回研究授業を行っている。そこでは、説明的な文章の読み取り方を指導し、意見文を書いた。文章の読み取りでは、用語を理解し、要旨を見つけたり意味段落に分けたりしながら、内容を理解することができた。これらの結果から、児童は用語を用いて文章を読む技術を身に付けているように感じる。意見文では、構成を意識し、読み取った筆者の意見に対して、自分の立場を明らかにし、理由をつけた意見文を書くことができた。このことから、構成を意識して文章を読もうとする態度も見られた。本単元では、理由を詳しく書くことや、事実と意見を書き分けること、また、接続語を使う力をつけていきたい。

(3) 指導観

第1回研究授業では、用語を使った読み取りの成果が見られたが、事実と意見を書き分けたり、具体例を詳細に書けなかったりする実態から、「書くこと」を重点に置いた指導を行う。第2回の今回は、「読む」教材である「天気を予想する」と、「書く」教材である「表やグラフを引用して書こう」の2教材を1単元として設定し、教材を読む中で、意見文の書き方を読み取らせ、読み取った書き方を自分の意見文を書くための技術として、身に付けられるようにすることを目的とする。

まず、何をやるのかという目的意識を児童にもたせるために、「表やグラフを引用して書こう」を導入として使い、グラフの読み取りから考えた意見文を書くという最終目標を設定させる。「天気を予想する」では、教材の筆者の書きぶりから、説得力をもたせる意見の書き方を身に付けられる学習の流れを設定する。

5 単元の指導計画

(1) 目標

- ・事実と意見の関係、表現の工夫から、内容や要旨、筆者の意図を理解することができる。
- ・資料を用い、構成を考えて意見文を書くことができる。

(2) 評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	伝統的な言語文化と 国語の特質に関する 事項
<p>①意見文を書くという目的をもち、文章を読もうとしている。 【読むこと イ】</p> <p>②資料から分かることに関心をもち、これからの子どもの体力について考えている。 【書くこと ア】</p>	<p>①情報から自分の立場を明らかにしている。 【書くこと イ】</p> <p>②文末表現に気をつけ、自分の主張を書いている。 【書くこと ウ】</p> <p>③問いと答えの構成で文章を書いている。 【書くこと イ】</p> <p>④資料を根拠とした文章をグラフの示し方に従って書いている。 【書くこと エ】</p> <p>⑤説得力のある表現について他の文章と読み比べ、自分の文章を書き直したり、他の文章の書きぶりについて評価したりしている。 【書くこと オ】</p> <p>⑥資料を使い、納得できる文章になっているかという観点をもって友達の文章を読み、助言することができる。 【書くこと カ】</p>	<p>①資料を用いる意図を理解している。 【読むこと ウ】</p> <p>②結論を事実と意見に分けている。 【読むこと ウ】</p> <p>③意味段落に分けている。 【読むこと ウ】</p> <p>④グラフと文章を見比べ、グラフの示し方を捉えている。 【読むこと ウ】</p>	<p>①基本文型について理解している。 【伝・国 イ(キ)】</p> <p>②接続語に着目し、段落のつながりを理解している。 【伝・国 イ(キ)】</p> <p>③相手を意識し、分かりやすい字で書こうとしている。 【伝・国 イ(ク)】</p>

6 単元構想（全8時間）

時	言語活動		本時の目標	評価の観点				評価規準	
	書	読		関	書	読	言		
1	自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動や報告した文章などを書いたり、編集したりすること。	課題解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること。	説得力をもたせるために、グラフを用いていることが分かる。	①		①	①	関①意見文を書くという目的をもち、文章を読もうとしている。 読①資料を用いる意図を理解している。 言①基本文型について理解している。	
2			グラフを読み取り、「子どもの体力」について、意見をもつことができる。	②	①			関②資料から分かることに興味をもち、これからの子どもの体力について考えている。 書①情報から自分の立場を明らかにすすしている。	
3			説得力のある結論には共通性があることを理解することができる。			②	①		読②結論を事実と意見に分けている。 言①基本文型について理解している。
4			文末表現の違いを理解し、自分の意見が伝わるように、結論を書くことができる。			②			書②文末表現に気をつけ、自分の主張を書いている。
5			接続語などから段落の関係を読み取ることができる。			③	③	②	書③問いと答えの構成で文章を書いている。 読③意味段落に分けている。 言②接続語に着目し、段落のつながりを理解している。
6			資料を根拠とした文章を書くことができる。			④	④		書④資料を根拠とした文章をグラフの示し方に従って書いている。 読④グラフと文章を見比べ、グラフの示し方を捉えている。
7			他の文章と比べて読み、自分の文章が説得力のある文章かどうかを考えることができる。			⑤			書⑤説得力のある表現について他の文章と読み比べ、自分の文章を書き直したり、他の文章のかきぶりについて評価したりしている。
8			友達の文章を読み、助言することができる。			⑥		③	書⑥資料を使い、納得できる文章になっているかという観点をもって友達の文章を読み、助言している。 言③相手を意識し、分かりやすい字で書こうとしている。

※太ゴシックの番号が主として評価する観点とする。

7 各時間の展開

(第1時)

学習内容 p. 140 の例文を読んで内容を理解し、何をどのように書くのかの大まかな見通しをもつ。
資料の必要性について考える。

本時の目標 説得力をもたせるために、グラフを用いていることが分かる。

教授活動 発問・指示・ 主な発問・指示	学習活動	◇検証の場面・【評価】(方法) ※指導上の留意点 ○Bに達するための手だて
<p>基本文型を提示し、確認する。</p> <div data-bbox="185 577 593 712" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>発問 1 これは、何という名前の文型でしたか。</p> </div> <p>頭括型, 尾括型, 双括型</p> <p>短文を書いた短冊を提示する。</p> <div data-bbox="185 837 593 958" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>指示 1 次の文を頭括型になるように並べ替えましょう。</p> </div> <p>別添資料2</p> <p>p. 138 を音読する。</p> <div data-bbox="185 1084 593 1285" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>説明 1 グラフや表を用いて説得力をもたせていると書いています。今回の授業でも説得力のある意見文を書いてもらいます。</p> </div> <div data-bbox="185 1317 593 1451" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>発問 2 説得力とはどんな力ですか。ノートに書きましょう。</p> </div> <p>人を納得させる力。</p> <p>p. 140 の例文を範読する。</p> <div data-bbox="185 1594 593 1715" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>説明 2 この例文が説得力をもっているのか読んでみます。</p> </div> <div data-bbox="185 1854 593 1975" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>指示 2 段落に番号を書きましょう。</p> </div> <p>①から⑩</p>	<p>別添資料1 基本文型の名前を思い出す。 (頭括型・尾括型・双括型)</p> <p>別添資料2 文章を基本文型通りに並べ替える。</p> <p>本単元では意見文を書くという学習の見通しをもつ。</p> <p>説得力の意味を考えてノートに書く。</p> <p>範読後、一人読みをする。</p> <p>教科書に番号を書く。</p>	<p>※同様に尾括型・双括型にも並べ替えさせる。</p> <p>※「〇〇する力」等と考えさせる。</p> <p>【関】意見文を書くという目的をもち、文章を読もうとしている。 (行動観察・振り返り)</p>

<p>発問3 説得力をもたせるために筆者は何を使っていますか。 グラフ</p>	<p>説得力をもたせるための筆者の工夫を探し、教科書にあるグラフを指で押さえる。</p>	<p>※表題、縦軸、横軸、出典を押さえる発問を入れる。</p>
<p>発問4 グラフについて書かれている段落はどこですか。 ②段落。</p>	<p>グラフについて書かれている段落を探し、その段落番号をノートに書く。</p>	
<p>発問5 グラフからどんなことが分かって筆者は書いていますか。 ゴミの排出量が減っているということ。</p>	<p>教科書を読み、グラフから分かることをノートに書き、隣の友達と確認し合う。</p>	
<p>発問6 ゴミの排出量が減っていることから筆者は何が言いたいのですか。 日本はくらしやすくなる。</p>	<p>要旨を見つけ、ノートに書く。</p>	<p>※多様な意見が予想されるので、一番適切な答えをまとめさせる。</p>
<p>発問7 筆者の考えが書かれている段落はどこですか。 ⑩段落</p>	<p>筆者の意見が書かれた段落を見つけ、段落番号をノートに書く。</p>	
<p>指示3 この文章は何型か書きましょう。 双括型。</p>	<p>基本文型を考えノートに書く。</p>	<p>【言】基本文型について理解している。(ノート) ※板書で文章の構成が分かるように見える化し、視覚的にも文章の構成が理解できるようにする。 ◇構成に着目して文章を把握する。</p>
<p>発問8 グラフを使った時と使わない時の読み手側の感じ方はどう違いますか。 グラフがあると分かりやすい。 グラフがあると説得力がある。</p>	<p>読み手側に立ったグラフがあるときとないときの感じ方をノートに書く。 本時の振り返りをノートに書く。</p>	<p>【読】資料を用いた意図を理解している。(発言・ノート) ※グラフがない文章と例文を比べ、統計資料(グラフ)を事実として提示することで、説得力をもたせていることに気付かせる。 ◇資料の必要性を考える。</p>

(第2時)

学習内容 「子どもの体力」について、意見をもつ。
グラフを読み取る。

本時の目標 グラフを読み取り「子どもの体力」について、意見をもつことができる。

準備物等 グラフ・写真・ワークシート

教授活動 発問・指示・主な指示・指示	学習活動	◇検証の場面・【評価】(方法) ※指導上の留意点 ○Bに達するための手だて
<p>スポーツテストの写真を提示する。</p> <p>昨年の11歳, 50m走の記録を提示する。</p> <p>発問1 この6年生とお家の人が6年生だった頃とはどちらが速いと思いますか。 30年前との50m走の記録を比較したグラフを提示する。</p> <p>発問2 速いのはどちらでしたか。 30年前</p> <p>指示1 このグラフから分かることをできるだけたくさん書きましょう。 30年前の方が男女とも速い。 30年前の男子の方が今の男子より0.15秒速い。 ソフトボール投げのグラフを提示する。</p> <p>指示2 同じようにこのグラフから分かることをできるだけたくさん書き出しましょう。 昔の方が遠くへ投げている。</p> <p>発問3 この2つのグラフから、今の子どもの体力はどうなっていますか。 昔と比べ下がった。 30年前を比べ下がった。</p>	<p>スポーツテストの種目や自分の記録を思い出す。</p> <p>どちらが速いか予想し、挙手する。</p> <p>別添資料3</p> <p>数値の変化、グラフの上下に注目してどちらが速かったのか確認する。</p> <p>別添資料5 グラフを見て分かることをワークシートに書く。</p> <p>別添資料4 グラフを見て分かることをノートに書く。</p> <p>子どもの体力がどのようになっているのかをノートに書く。</p>	<p>※去年の11歳児の記録を提示し、親世代と競争した場合の勝敗を想像させる。 ※全員が挙手しているか確認する。 ※グラフの見取り方を1つ1つ指で確認させる。</p> <p>※○は△△だ。 ○は△から□になっている。 という型を示し、見るポイントを焦点化する。</p>

<p>指示3 意見の根拠となる事実を印しておきましょう。</p>	<p>意見の根拠となる事実を印を付ける。</p>	<p>※書いた意見の根拠を押さえさせる。</p>
<p>発問4 このような結果になった理由は何が考えられますか。書きましょう。 遊ぶ場所が変わった。等</p>	<p>隣の友達と話しながら、これまでの知識や経験から原因を考える。</p>	<p>※結果だけでなく原因を推測させ、結果に至った背景を考えさせる。</p>
<p>発問5 グラフの続きはどうなると思いますか。 このまま下がっていく。 これから上がっていく。</p>	<p>グラフの続きを考える。 話し合う。</p>	<p>【 関 】 グラフから分かることに関心をもち、これからの子どもの体力について考えている。 (発言)</p>
<p>指示4 グラフから分かったことから子どもの体力についてのあなたの考えを書きましょう。</p>	<p>グラフから読み取ったことをもとに、子どもの体力について考えたことを書く。</p>	<p>【 書 】 情報から自分の立場を明らかにしている。 (ワークシート)</p>
<p>説明1 構成を再び意識させ、板書のような書き方で意見文を書いていくことを伝える。</p>	<p>本時の活動が、意見文にそのまま反映することができる気付く。 本時の振り返りをノートに書く。</p>	<p>※子どもの体力が低下していくとどうなるのかなど、想像しやすい声かけをする。 ◇意見文の構成を捉え、結論に必要な情報を集める。 ※本時の活動と意見文の構成が一致するよう板書を計画する。</p>

(第3時)

学習内容 「天気を予想する」を読み、主張を事実と意見に分ける。

本時の目標 説得力のある結論には共通性があることを理解することができる。

準備物等

教授活動 発問・指示・主な発問・指示	学習活動	◇検証の場面・【評価】(方法) ※指導上の留意点 ○Bに達するための手だて
<p>事実と意見ゲームを行う。</p> <p>指示1 事実か意見がどちらかに手を挙げ ましょう。 先生は女です。等</p> <p>事実</p> <p>「天気を予想する」の音読を促す。 (追い読み)</p> <p>発問1 この文章は、物語文、説明文、詩の うちのどれですか。</p> <p>説明文</p> <p>指示2 題名・筆者・結論の段落をノートに 書きましょう。 天気を予想する・武田康男 ⑩段落</p> <p>発問2 この文章は何型の文章ですか。 尾括型</p> <p>指示3 ⑩段落を事実と意見に分けなさい。 事・意・意・意</p> <p>指示4 p. 140 の例文の結論の事実と意見 の並び方を確認しましょう。</p> <p>発問3 1文目の事実は必要ですか。 必要。事実を挙げてから意見を言う と、分かりやすいから。</p>	<p>事実か意見かどちらかに決め、 挙手する。</p> <p>教師の後に続いて読む。</p> <p>3つのうちのどれに当てはま るか考え挙手する。</p> <p>題名、筆者、結論の段落をノー トに書く。</p> <p>基本文型を考えてノートに書 く。</p> <p>1文ずつ音読し、⑩段落を事実 と意見に分ける。</p> <p>例文の第3段落を見て事実と 意見の並び方を確認する。 同じ並び方であることに気付 く。</p> <p>意見の中に、事実を入れている 意味を考える。 ノートに書く。</p> <p>本時の振り返りをノートに書 く。</p>	<p>※全員が挙手しているか確認す る。</p> <p>※説明文を捉えさせ、書いた人を 筆者ということを押さえさせる。</p> <p>※結論は、意見がたくさん書かれ ている段落を見つけさせる。</p> <p>【言】基本文型について理解し ている。(ノート) ※基本文型のカードを掲示する。</p> <p>【読】結論を事実と意見に分け ている。(ノート) ○事実と意見の定義を確認し、ど ちらかを考えさせる。</p> <p>※例文を読み返し、同じ書き方で 書いていることに気付かせる。</p>

(第4時)

学習内容 「天気予想する」を読み、主張と主張の書き方を捉え、自分の意見を書く。
本時の目標 文末表現の違いを理解し、自分の意見が伝わるように、結論を書くことができる。
準備物等

教授活動 発問・指示・主な発問・指示	学習活動	◇検証の場面・【評価】(方法) ※指導上の留意点 ○Bに達するための手だて
<p>⑩段落の音読を促す。</p> <div data-bbox="185 510 603 658" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>指示1 意見を「強調・断定」・「判断」・「提案」の3種類に分けましょう。</p></div> <p>・天気的中率の向上により、生活が便利になったと判断している。 ・「今、ここ」の天気の変化を予想し、判断するのはその場にいる一人一人だと強調している。 天気予報を活用しながら空や風かを感じることを大切にしたいと読み手に提案している。</p> <div data-bbox="185 1099 603 1261" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>発問1 「思います」と「なのです」の気持ちの表し方の違いを考えましょう。</p></div> <p>自信があるとき「なのです」。 自信のないときは「思います」。</p> <div data-bbox="185 1496 603 1704" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>指示2 2つの文章と同じ書き方で、自分の考えを書いてみましょう。 事実・意見(判断)・意見(強調・断定・提案など)の順番で書く。</p></div>	<p>⑩段落を音読する。</p> <p>⑩段落の意見の文を3つに種類分けし、隣の友達と確認する。 文末の違いから相手への伝え方を考える。</p> <p>2つの言葉の違いについて隣の友達や全体で話し合う。</p> <p>「子どもの体力」について、事実・意見・意見・意見の順番で文末を考えながら自分の意見(結論)を書く。</p> <p>本時の振り返りをノートに書く。</p>	<p>◇文末の違いについて相手に与える影響を考える。 ※実感できるような例を出し、文末表現の違いを理解させる。 例：これはチョコなのです。 これはチョコだと思います。 ※文末によって気持ちを表すことができることを捉えさせる。</p> <p>◇相手意識を持ち、主張の書き方を考える。 ※p.140の例文の書き方と比べさせる。 ※事実の後には、その事実に対する筆者の判断がくることを捉えさせる。</p> <p>【書】文末表現に気をつけ、自分の主張を書いている。(ノート) ○前時に書いた自分の考えを参考に書かせる。</p>

(第5時)

学習内容 問いと答えで構成されている文章の意図を考える。
本時の目標 接続語などから段落の関係を読み取ることができる。
準備物等

教授活動 発問・指示・主な発問・指示	学習活動	◇検証の場面・【評価】(方法) ※指導上の留意点 ○Bに達するための手だて
<p>全文の音読を促す。</p> <p>段落の数だけノートに数字を書かせる。</p> <div data-bbox="188 663 596 786"><p>指示1 「結論」の段落に「結論」と書きましよう。 ⑩段落「結論」</p></div> <div data-bbox="188 860 596 1005"><p>指示2 ①から⑨段落の中で、問いの段落を見つけ「問」と書きましよう。 「問」①④⑦</p></div> <div data-bbox="188 1055 596 1178"><p>発問1 なぜ、問いと分かりましたか？ 「か」で終わる。</p></div> <div data-bbox="188 1205 596 1350"><p>指示3 ①の答えが書かれた段落に「答」と書きましよう。 「答」②③</p></div> <div data-bbox="188 1400 596 1592"><p>指示4 「答」の横に、短い言葉で書きなさい。 ②科学技術の進歩 ③国際協力の実現</p></div> <div data-bbox="188 1641 596 1834"><p>発問2 ②③が答えの段落だとどの言葉で分かりましたか。 「次の2つの理由に」 「一つは、もう一つの理由は、」</p></div>	<p>二人交代読みをする。</p> <p>①から⑩まで数字をノートに書く。</p> <p>前時を思い出し、結論の段落をノートに書く。</p> <p>問いの文に線を引き、ノートに「問」と書く。</p> <p>問いと分かる言葉を見つける。ノートに書く。</p> <p>答えの段落を探し、ノートに書く。</p> <p>答え(要点)をノートに書く。</p> <p>教科書の中で答えの段落だと分かった言葉に印をつける。 隣の友達と話し合う。</p>	<p>※前時のノートを見るように促す。 基本文型のカードを提示する。</p> <p>※問いを表す言葉に着目させる。</p> <p>※この段落で一番大事な言葉はどれか問う。</p> <p>【言】接続語に着目し、段落のつながりを理解している。(発言・ノート) ※「1つは」などの接続語に着目させ、段落のつながりに気付かせる。 ◇接続語の役割を考える。</p> <p>※ペアで話し合わせる。</p>

<p>発問3 ④の答えはどこですか。①と同じように考えて書いてみましょう。 「答」④ 「答えの理由」⑤⑥ 接続語「1つに」、「また」</p>	<p>ノートに答と書く。 話し合い、答えを確定する。 接続語を見つける。</p>	
<p>指示5 ⑦の答えはどこですか。同じように考えて書いてみましょう。 ⑧自分で空を見たり風を感じたりする。 ⑨天気に関することわざ 接続語「1つの手だては」、「も」</p>	<p>前活動と同じように考えノートに書く。</p>	
<p>発問4 この①から⑨を3つのまとまりで分けるとすると、どこに線を引きますか。 ①～③, ④～⑥, ⑦～⑨</p>	<p>まとまりごとにノートに線を入れる。</p>	<p>◇意味段落に分ける。 【読】意味段落に分けている。(ノート)</p>
<p>発問5 筆者が問いを使った理由は何だったのでしょうか？ 問いかけられると考えるから。 読んでもらうため。</p>	<p>問いと答えという構成にした筆者の意図を考え発表する。</p>	<p>※「～ため。」「～から」という型を提示する。 ※問いを使わなかった場合の①から③段落の文章を見せ、どんな違いがあるか考えさせる。 ◇問いと答えを用いた表現の意図を考える。</p>
<p>発問6 ②段落の答えの1文以外の文は必要ですか？ 必要。詳しく説明しているから。</p>	<p>答えの他に説明が書かれている意味を考える。</p>	
<p>指示6 問いと答えを使った文章を書いてみましょう。</p>	<p>学校の決まりについて、1年生に伝えるための文章を、問いと答えを使って文章を書く。 本時の振り返りをノートに書く。</p>	<p>◇相手を意識した文章を書く。 【書】問いと答えの構成で文章を書いている。(ノート) ○書き出しの言葉を提示する。</p>

(第6時)

学習内容 資料の引用の仕方を考える。

本時の目標 資料を根拠とした文章を書くことができる。

教授活動 発問・指示・ 主な発問・指示	学習活動	◇検証の場面・【評価】(方法) ※指導上の留意点 ○Bに達するための手だて
<p>全文の音読を促す。</p> <p>指示1 筆者の主張部分を読みましよう。</p> <p>発問1 このように考えたのは、どんなことがあるからですか。 突発的・局地的な天気の前想は難しいから。</p> <p>発問2 突発的・局地的な天気の前想が難しいということについて説得力をもたせているのはどこですか。 p. 132 のグラフ</p> <p>指示2 グラフについてどこから書かれているか、最初の点まで書き抜きましょう。 下のグラフは、</p> <p>発問3 グラフや表を使う時の書き方の決まりはあると思いますか。</p> <p>指示3 p. 140 の例文のグラフについて書き始めたところを見つけましよう。 下のグラフは、</p> <p>指示4 次に何を書けば良いですか。2つの文章を比べながら考えましよう。 ①○のグラフ(表)は、 ②分かったこと ③判断</p>	<p>リレー読みをする。</p> <p>筆者の主張を読む。 「しかし、……。そのことを忘れず……。」</p> <p>筆者の主張の根拠となる内容を思い出す。</p> <p>説得力をもたせる働きが何かを考え、その部分を指で押さえる。</p> <p>グラフについて書いている部分を見つけ、ノートに最初の読点までを書く。</p> <p>どちらか考え、挙手する。</p> <p>例文のグラフについて書かれた部分を読む。</p> <p>例文と比べて、考えノートに書く。 全体で話し合う。</p>	<p>※グラフを使った理由を確認する。</p> <p>※同じ書き方をしていることに気付かせる。</p> <p>◇資料を文章にする上での注意点について考える。 【読】グラフと文章を見比べ、グラフの示し方を捉えている。(ノート) ○1文ずつ書いている内容を指で押さえ、確認させる。 ※他のグラフについても考えさせる。</p>

<p>発問4 数字を使うことの効果は何ですか。 分かりやすい。</p>	<p>数字の効果について考える。</p>	<p>※数字の有無で分かりやすさについて考えさせる。</p>
<p>指示5 見つけた決まりを使って、「子どもの体力」から何が分かるか書きましよう。</p>	<p>ノートに資料を根拠とした文章を書く。</p>	<p>【書】資料を根拠とした文章をグラフの示し方に従って書いている。 (ノート) ○1文目は何を書いたらよいか前活動から確認し、同じように書かせる。</p>
	<p>本時の振り返りをノートに書く。</p>	

(第7時)

学習内容 推敲し、自分の文章が論理的に書けているか考え書き直す。

本時の目標 他の文章と比べて読み、自分の文章が説得力のある文章かどうかを考えることができる。

準備物等

教授活動 発問・指示・主な発問・指示	学習活動	◇検証の場面・【評価】(方法) ※指導上の留意点 ○Bに達するための手だて
双括型・尾活型のカードを提示し、前時までに書いた、主張と具体を文型に当てはめる。	「はじめ」の文章がないことに気付く。	
発問1 どのような書き出しにしますか。 興味をひく文章。 問いかけの文章。	書き出しをどうしたらよいか、隣の友達と話し合い、意見を出す。	※「子どもの体力について説明します。」という一般的な書き方を提示し、読み手を意識させた文章になるよう考えさせる。
指示1 「はじめ」の文章を書きましょう。 はじめ・中・終わりに並べて自分の文章を読み返させる。	「はじめ」の文章を書く。 今まで書いてきた文章を読み返す。	※第2時での活動を思い出させ、話題提示から問いかけという形であることに気付かせる。 ◇構成を意識し、意見文を書く。
発問2 あなたの意見文の構成は何型ですか。	自分の文章の基本文型をノートに書く。	※結論の場所を確認させる。
発問3 3つの文章の中で説得力が一番ある文章はどれですか？	2つの教材文と自分の書いた意見文から、根拠を使い分かりやすく自分の考えを書いている文章を選ぶ。	
指示2 選んだ文章の中の説得力があると感じた部分に線を引きましょう。	説得力があると感じた部分に線を引く。	◇自分の意見文を客観的に分析して読み比べている。
指示3 付け足したり、書き直したりして、この中で一番説得力のある文章にしよう。誰よりも上手に書いた人は、どちらかの文章を読み手に伝えるように、書き直してあげなさい。	前活動で示した部分を中心に添削しながら、書き直す。 本時の振り返りをノートに書く。	【書】説得力のある表現について他の文章と読み比べ、自分の文章を書き直したり、他の文章の書きぶりについて評価したりしている。(ノート) ○友達の意見文の良いところを抜き出させる。

(第8時)

学習内容 互いの意見文を読み合い，説得力のある文章について考える。
本時の目標 友達の意見文を読み，助言することができる。
準備物等

教授活動 発問・指示・主な発問・指示	学習活動	◇検証の場面・【評価】(方法) ※指導上の留意点 ○Bに達するための手だて
<p data-bbox="181 488 593 651">指示1 今日は、全員で読み合いをします。 誰が読んでも分かる字で、丁寧に清書しなさい。</p> <p data-bbox="181 683 593 920">指示2 友達の良いところをさがします。納得した部分を抜き出して、感想を付箋に書きましょう。納得できないところは、こう書けば納得できると教えてあげなさい。</p>	<p data-bbox="617 533 976 568">丁寧な文字で、清書する。</p> <p data-bbox="617 725 976 875">友達の席で意見文を読み、友達の意見文に対する感想を付箋に書く。書いた付箋は、友達に渡す。</p> <p data-bbox="617 958 976 1032">読み合った後、友達が書いてくれた付箋を読む。</p> <p data-bbox="617 1308 976 1384">本時の振り返りをノートに書く。</p>	<p data-bbox="1000 533 1409 645">【言】相手を意識し、分かりやすい字で書こうとしている。 (ノート)</p> <p data-bbox="1000 725 1409 949">◇構成や書き方に関心を持って読んでいる。 【書】資料を使い、納得できる文章になっているかという観点をもって友達の文章を読み、助言している。(付箋)</p>